

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成26年6月9日（月）～平成26年6月15日（日）〔平成26年第24週〕の感染症発生状況

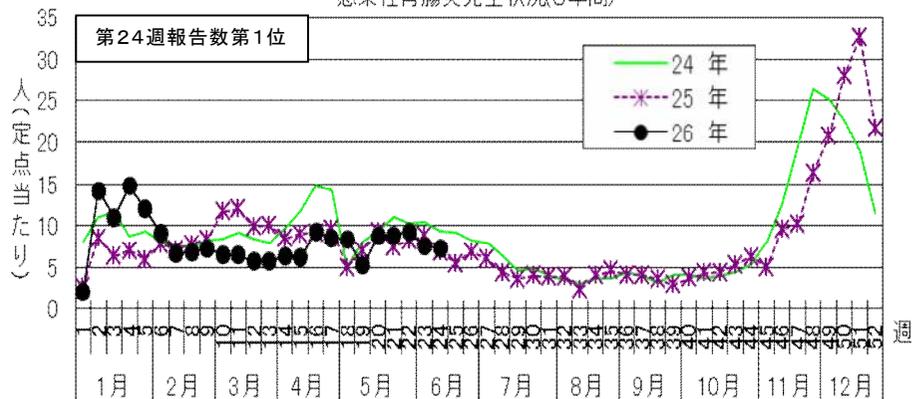
第24週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)伝染性紅斑でした。

感染性胃腸炎は定点当たり7.27人と前週（7.52）より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

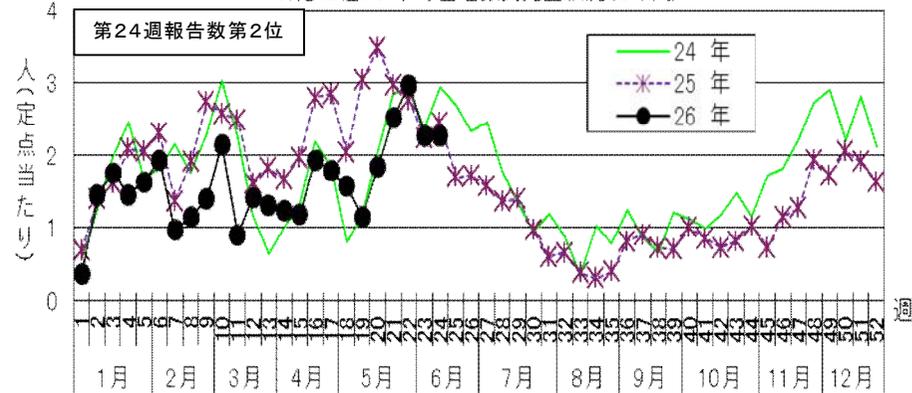
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.27人と前週（2.27）から患者報告数は横ばいで、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

伝染性紅斑は定点当たり1.18人と前週（0.64）より患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



注意したい感染症～咽頭結膜熱～

現在、全国的に咽頭結膜熱（プール熱とも呼ばれる。）の患者報告数が増加しています。川崎市においても、主に5歳以下を中心に患者報告数が増加しているため、夏に向けて注意が必要です。

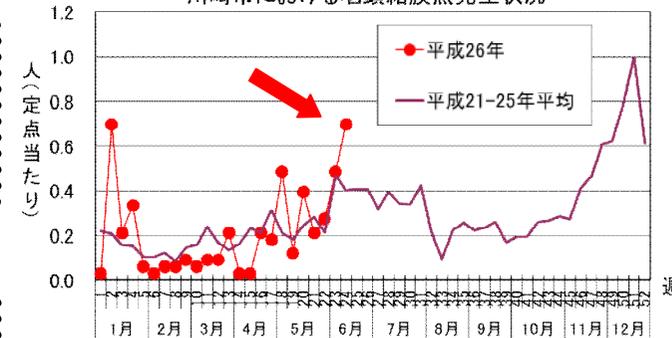
～病原体・潜伏期間・症状は？～

- ▶ 病原体：アデノウイルス
- ▶ 潜伏期間：5～7日
- ▶ 症状：高熱・咽頭炎・結膜炎等

～感染経路は？～

- ▶ 患者からのくしゃみや咳などのしぶきによる飛沫感染、手指を介した接触感染がある。
- ▶ 患者が触れたタオルや物、ウイルスに汚染されたプールの水などを介して、ウイルスが口や眼などの粘膜に入って感染することもある。

川崎市における咽頭結膜熱発生状況



～気をつけたいこと！！～

- ▶ 患者との接触を避け、手洗いを心がける。
- ▶ タオルの共用は控える。
- ▶ 水泳前後にシャワーを使用する。

